

2023年度 群馬大学社会情報学シンポジウム

表象と社会 — ^{ひそ}潜むもの、 ^{あら}顕わとなる

2023年7月25日（火） 13:00 ~ 16:00

会場：群馬大学 荒牧キャンパス 10号館1階 121講義室

シンポジウム概要

COVID-19の蔓延とその余波の中、隠されていた可能性が、現代の情報技術の助力を得ながら現実化した領域がある。本シンポジウムでは、その代表的な事例としての「映像」を中心としながら、広く表象文化が社会の変容の中で顕在化する、そのあり方を検討する。

講師紹介

萩原朔美 (前橋文学館館長)

1946年11月、東京都生まれ。寺山修司主宰「天井桟敷」旗揚公演に参加。俳優・演出を担当。映像制作も始め、退団後も時間や記憶をテーマに制作。版画や写真の他、雑誌『ビックリハウス』創刊等で渋谷系サブカルチャーを牽引。著書多数。現在、多摩美術大学名誉教授、前橋文学館館長、前橋市文化活動戦略顧問。



講師：萩原朔美 ・ 中村ひろみ ・ 平田知久

対象：学生・職員・一般市民の方 定員：200名

主催：群馬大学 社会情報学部附属社会情報学教育・研究センター

お問合せ：情報学部 准教授 平田知久 (tomohira@gunma-u.ac.jp)

プログラムと
参加申込みは
こちらから

※オンデマンド（後日のオンライン視聴）
配信も検討中です。
ふるってご参加ください！

